



2021年2月15日

各位

株式会社 フィスコ
 代表取締役社長 狩野 仁志
 (JASDAQ・コード3807)
 問い合わせ先：
 取締役管理本部長 松崎 祐之
 電話番号 03(5774)2440 (代表)

2020年12月期通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2020年2月28日に公表しました「2020年12月期～2022年12月期中期経営計画」の2020年12月期通期(2020年1月1日～2020年12月31日)と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績の差異

(1)2020年12月期通期(2020年1月1日～2020年12月31日)

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 ※
前回発表予想(A)	百万円 1,246	百万円 156	百万円 39	百万円 12	円 銭 0.29
実績値(B)	1,119	61	△127	66	1.48
増減額(B-A)	△127	△95	△166	54	
増減率(%)	△10.11%	—	—	—	
ご参考(前期実績) 2019年12月期	5,789	△586	△984	△666	△16.13

※2020年12月期第3四半期よりネクスグループが当社の持分法適用関連会社から除外となっております。

(2)各事業セグメントの業績予想と実績の差異

単位：百万円

	2020年12月期 (前回発表)		2020年12月期		差異	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
情報サービス事業	1,138	391	1,031	304	△107	△87
広告代理業	108	33	65	18	△43	△15
暗号資産・ブロックチェーン事業	0	0	22	20	22	20

その他（調整額）※	0	△268	0	△282	0	14
連結計算書計上額	1,246	156	1,119	61	△127	△95

※「その他」には、コンサルティング事業および各セグメントに帰属していない全社費用の一般管理費ならびに連結計算書営業利益の調整額が含まれます。

2. 差異の理由

売上高につきましては、金融・経済情報配信サービス分野におきましては、ポータルサービスおよび法人向けリアルタイムサービスが前期比で 15 百万円減少したものの、機関投資家向けやアウトソーシングサービスの新規契約による取引増加および個人向けサービスである「クラブフィスコ」が前期比で売上が 27 百万円増加しましたが、上場企業を対象とした IR 支援及コンサルティングサービス分野におきまして、季節性の高い大企業向け統合報告書やアニュアルレポートについて、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景に、売上検収時期の延期などの影響を受けました。また、スポンサー型アナリストレポート(企業調査レポート)についても、新型コロナウイルス感染症に伴う契約企業の業績悪化による IR コスト削減などの影響を受け、解約やサービスの一時中断等が生じました。広告代理業につきましても、2020 年夏に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックの延期による企業広告の減少およびクライアント企業の事業活動の自粛等の影響を受けたことにより、広告収入の減少を余儀なくされたため、前回予想を下回りました。

一方、暗号資産・ブロックチェーン事業は、ビットコインを中心とした暗号資産の取引価格が、2020 年 10 月以降上昇しており、取引相場の状況に応じたレーディングを行ったことにより、前回予想を上回りました。

営業利益につきましては、売上高の減少に加え、情報サービス事業における外注費用、システム保守料の増加等により利益率が低下し、前回予想を大きく下回りました。経常利益につきましても、営業利益が前回予想を下回ったことが影響したことに加え、持分法適用関連会社のネクスグループに対する持分法による投資損失 175 百万円および株式会社 Zaif Holdings (2020 年 11 月 1 日付で、株式会社フィスコデジタルセットグループより商号変更。) に対する持分法による投資損失 111 百万円を計上したことなどにより、前回予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、株式会社ネクスグループ株式の売却による特別利益を計上したこと等により、前回予想を上回る結果になりました。

以上の理由により、2020 年 2 月 28 日に公表いたしました業績予想と実績に差異が生じました。

以 上